

<第1回 正・副 会長/委員長/青年部会議 議事録>

開催日時： 2022年6月20日(月) 18:25～19:45

開催場所： たかつガーデン「牡丹」

参加者： (代表理事) 林 秀昭 (業務執行理事) 西村 哲也、 関 健一
(委員長) 島田 真輔、 朝田 武志 (青年部総務幹事) 中辻 将喜
(事務局) 中西 <文責>

議事内容：

【大議題】 新しい体制(会長・副会長)になり、今後の事業運営について皆さんで意見を出して進めたいと考えます。
会員パートナー宣言に基づいて、事業を充実させてビジョンを実現したい。(林 会長)

(課題・意見と具体的な展開方法など 順不同)

- ・例として「DX」を進めるにあたり、3Dに取り組む必要があるのではないか、
メーカーにセミナーをして頂く、3Dが進んでいる企業へ学びに行く、 など
- ・安全・技術委員会では「DX」は大塚商會に任せ直接会員へ声掛けして改善を進めて頂きたい、
委員会としては企画中の「金属プレス研修塾」をメインに展開をしていきたい (朝田 委員長)
→進めて行きましょう、順番に拘らず(高炉見学は後でもよい)
- ・「DX」は工程管理、原価管理など具体的なテーマに絞る方が良いと思う
今回のメンバーの中でもバーコードによる工程管理が出来ている会社は少ない
更に絞って、カンバンやカラクリの工場見学などをしてもよいのではないか
- ・青年部会の課題 メンバーが少なく2年後に3、4名になる
青年部存続のためメンバー確保は早急な課題、候補者、予約メンバーを考えましょう
入会の資格を再検討すればどうか、経営者一族に限らず管理職社員に広げてはどうか
(参考-青年部会則： 各企業の経営者又は将来その経営をになうべき幹部社員であること)
青年部の重要なこと、本当の経営の悩みなどは社員に聞かせられない話もあると思う
幹部社員を交えた研修会などはしても良いが、経営者のみと二面性があっても良いと思う
→ 青年部のあり方は今後の継続審議とします (林 会長)
- ・経営者懇話会を実施しましょう
総務・経営委員会だけでなく青年部会も交えて企画して行きましょう
- ・人手不足が課題、どう解決するか、自動化への課題など情報交換をしながらネットワークを構築したい
例)キズ・打痕などカメラで見つけて解決したい、メッキの仕上がりを数値化したい
品質の自動化、センサー、原価管理など各社で困っている部分はみな同じと思います
現場の感覚で企画した手作り講習会などが「参加してみよう」となるのではないかと
→生産管理、原価管理の セミナーを開催するためのプロジェクト会議をしましょう！
今回のメンバーと青年部も含めて関心のあるテーマを見つけましょう

上記の会議の日程 7月27日(水) 18時から正副会議、その後19時から青年部参加

(次ページへつづく)

(その他の議題)

・日金協への出張旅費交通費の扱いについて

これまでは日金協の事業へ行く交通費を工業会から支給していましたがこれを見直します。

種々の意見がありましたが、結論、林会長の決定事項として

1) 交通費は各自(各社)の自腹 出張を絡めて行く方もあるでしょう

2) 懇親会の参加費は 工業会から支給します

現金で払った場合は領収証と交換で工業会が払います

振込の場合は、お知らせ頂いて工業会から振り込みます

→数名分の場合はまとめて振り込みたいので日金協とも相談します。(事務局)

次回の会議日程は 7月27日(水) 18時から 正副会議 ⇒ (後に理事会へ変更となる)

19時から 青年部も参加してセミナーをするためのプロジェクト会議

以 上